ASSOCIATION OF INTERNATIONAL BUSINESS ADVISERS (愛称: AIBA)

$\Delta \mathsf{IB}\Delta$ だより

第74号 2014年10月発行

ー 般 貿易アドバイザー協会

http://www.trade-advisers.com/

AIBA編集部 Tel: 03-3255-2477

発行人:渡辺 肇幸

編集人:清水 晃、 編集者:吉田 忠志

最近の事業動向について

理事長 渡辺 肇幸

ここ数年、皆様のご協力により当協会の業績は確実 に上昇しつつあります。一方、事業動向について大き な変動が見られます。会員総会の席で申し上げていま すが、この機会に取りまとめお伝えします。

1. 営業活動の変化

従来、事業部役員が事業のありそうな所へ出向いたり、その担当者と接触を保つことが事業実現の有力な手段でした。これは依然として有効ですが、近年AIBAの知名度向上に伴い、AIBA事務所へ直接、事業の引合いが寄せられることが多くなりました。

これらの引合いの中には高度の専門知識や経験を要する、取組み甲斐のある案件が増加しています。そのような引合いの際には、AIBA事務所勤務者が、適切な初動対応をすることが必要です。総会で事務所機能の充実を述べていますが、まさにこのような対応が要求されるからです。言葉の厳密な定義からすれば、必ずしも正確ではありませんが、待受け型営業活動の重要性が増してきました。

2. 新しいビジネス形態

従来からAIBAが得意とするのは、貿易がらみの案件、具体的には貿易相談や貿易セミナー講師派遣でした。これも引続き重要ですが、新しい案件として、貿易十アルファの事業があります。ご承知の通り、AIBAの近年の業績向上にはこのような案件がおおいに貢献しています。一般企業や公的機関が貿易にとどまらず、新興国への投資案件を対象に専門家を募集するようになっています。また地方自治体が海外事務所を新設する例もみられます。身近な例としては次のような事例

があります。

(1) 貿易+税務:

世界各国との取引条件と関連税務(VAT、PE課税、移転価格税制など)の関係調査など、従来の貿易ではひとくくりにできない引合い。

(2) 輸出入から外国間取引へ:

現有コンサルタント契約でも、内容が当初の輸 出案件から、安全保障貿易管理、更に外国間取 引へと変貌。

(3) 貿易業務診断:

企業の貿易業務診断及び具体的な改善案の提示。

(4) 輸出取引と現地法人設立及び運営:

既に輸出をやっているが、近い将来現地法人を 設立したい。現地で商売をする場合の注意事項 及び現地法人設立の手続き・経営上の注意点に ついてのアドバイス。

- (5) 海外での事業:
 - 1) 昨年はロシアウラジオストック日本センターにおいて、ロシア人に対し、「日本へ物を売り込むには、輸入品の流通経路、会社設立の方法」のセミナーを行いました。
 - 2) 現在継続中の鳥取県東南アジアビューローの 事業は、経済分野に限るが、事実上鳥取県の バンコク事務所であり、貿易のみならず多方 面の分野で活動をしています。最近の地方創 生政策により、この種案件が増加する可能性 があります。
 - 3) ここ数年間継続してきた東南アジア某国のわが国向け食品輸出案件について、包装専門家を 現地に同道して指導して欲しいとの要請があり、包装技術に関しては外部専門家を起用し、 出張指導を行いました。
 - 4) 事業の現場は国内ですが、外国公館経由あるいは外国企業から直接、売りたい商品のわが

Contents (目次)

 P1…
 最近の事業動向について
 渡辺
 肇幸

 P2…
 貿易アドバイザー試験事業の状況
 試験運営委員会

 P3…
 試験運営委員を終えて
 永野
 靖夫

 北海道の農水産物輸出
 石浦
 淳三

P4… 福岡レポート 岡田 伸子

苗木のミンスク市(ベルラーシ共和国)

への輸出(寄贈)を実施して 畠山 茂雄

 P5… コーヒールンバは悲しい曲
 熊木 信義

 P6… 読書の秋来たる!
 片本 善清

Pフ··· ソーセージの焼き加減は?

芳賀 淳

P8… ドイツ製グライダーのレストアリング(修復)ワーク(中編)

清水 正明

支部活動

P9··· AIBA-NET 論壇

P10··· AIBA-NET Q&A 回答者: 川角 カ

アドバイザーの活動

P12…理事会議事録(抄録)

P13…編集後記

国市場調査など期待できる案件です。

(6) 新興国コンサルタント・アドバイザー:

公的機関などこの分野に力を入れ、貿易に加え 海外直接投資の経験者、すなわち海外での企業 立上げ、あるいは海外での企業経営経験者を求 める案件が増加しています。AIBA会員にとって 大きなチャンスです。

(7) 地方創生事業:

政府方針に従って、新たな事業が始まる可能性があります。各支部におかれては、適切な情報入手に努めて頂きたいと思います。AIBA一体となって事業を推進する所存です。

事業本部は従来型の引合いのみならず、このような 状況の変化に対応、活動をしています。会員各位の一 層のご協力をお願いします。

貿易アドバイザー試験事業の状況

試験運営委員会

今年でAIBA認定貿易アドバイザー試験は7年目を迎えました。2008年にジェトロから試験事業を引き継いだあと大きな問題もなくここまでやってこられたのは、ジェトロをはじめ後援・協賛をお願いしている諸団体のご支援と会員各位のご協力に負うところが大であり、この紙面をお借りして深く感謝申し上げたいと思います。

AIBAとAIBA認定貿易アドバイザー試験の認知度が年々上がってきているように感じている方々も多いのではないかと思います。試験運営委員会を中心とする関係者一同は、AIBAがなお一層社会的な評価を得て国際ビジネス振興に重要な役割を担えるよう、この試験事業をさらに拡充・発展させたいと奮闘しているところです。本年度の試験事業の状況を以下にご報告します。

1. 本年の試験

2014年度のAIBA認定貿易アドバイザー試験の一次試験は11月22日(土)に実施予定で、現在受験の申込受付中です。申込〆切は11月10日(月)です。多くの方に受験していただき国際ビジネスの専門家としての認定を受けていただければと思っています。この試験は貿易実務、国際マーケテイング、貿易英語の3科目に合格するのが条件ですが、受験を検討している方からは受験資格である「3年以上の貿易実務経験」の具体的な範囲について質問をよく受けます。事務局はこれに対して「貿易実務といっても、いわゆる輸出入業務経験であればOKです」と回答しています。今後貿易アドバイザーの活躍の場が貿易という狭い範囲に限定されず、国際ビジネスという広い舞台に移るためには必然的な回答であると考えています。いずれにしても、実務経

験に裏打ちされた国際ビジネスの専門家を志している 方にはぜひこの試験を受けていただきたいと思います ので、会員諸氏にはお近くにそのような方がおられれ ばぜひお声掛けいただくようお願い致します。

2. 広報活動

今年の試験の広報活動は「通商弘報・電子版」、「ジェトロセンサー」、「貿易と関税」等への広告掲載やポータルサイトのリスティング広告を行ったほか、各支部の協力のもと全国のジェトロ事務所や国際ビジネス支援機関にお願いして、ポスター掲示、チラシ配布、メルマガ掲載など行っており、全国の国際ビジネスの実務に携わっておられる方々に向けた試験の広報活動を推進中です。

3. セミナーの実施

今年は5月に東京で貿易実務セミナーを2回開催しました。また受験者向けの試験対策セミナーとして東京・大阪・名古屋・仙台・広島の全国5会場でセミナーを計画し、既に9月23日(東京)と9月27日(広島)に実力養成セミナーを実施済みです。このあとも実力養成セミナーを各地で6回予定しており、さらに練習問題の解説を中心とした直前対策ゼミを10月25日に東京・大阪で行う予定です。受験対策だけではなく、最近の国際ビジネストレンドの理解にも役立つ大変有用なセミナーになっています。

4. 試験運営委員会のメンバー交代

長年AIBAの試験運営委員として尽力いただいていた 永野会員(#068)が2014年8月末をもって試験運営委 員会メンバーを外れ、交代に安達会員(#703)がメン バーに加わりました。永野様、これまで大変お疲れ様 でした。会員各位には引き続き試験運営委員会へのご 協力のほどよろしくお願い致します。



実力養成セミナーの様子(9月、東京会場)

試験運営委員を終えて

永野 靖夫 (東京 #068)

この8月末で試験運営委員を辞しました。鑑みれば、当試験がAIBAの主催になった15期から20期まで6年間務めたことになります。最初は正に手探り状態でしたが、ジェトロ殿のご尽力と会員各位の熱意により、ここまで辿り着けたことに感謝しております。

1. 晴れの舞台は試験監督

任期中の私の晴れの舞台は一次試験の試験監督でした。かなり前の話になりますが、一時期、私は試験監督を盛んにやったことがありましたので、試験の様子は判っていました。即ち、何も起こらないのも試験ですし、何か起こるのも又試験です。この点を肝に銘じ、前者になるよう気合を入れてやったつもりです。従って、試験場ではいつになく態度が大きかったかもしれません。これはあくまでも仮の姿ですので、ご容赦の程を!

さて、立ち上がりの2年程は試験会場の雰囲気が悪く、 正直心配しました。試験の成績分布もなかなか思うよ うなところに来ず、(といって、どうすることもできま せんが)悩んだ時期もありました。しかし、幸いにして、 3年目以降は徐々に試験会場も落ち着きを取り戻し、成 績の分布も大凡こちらが考えたところに落ち着いてき ましたので、ほっとしたのを今でも覚えています。

2. 試験制度を持つということ

協会自体が試験制度を持ち、新しい人材の発掘ができるということは素晴らしいことです。これから後輩の方々に試験の運営を任せていくことになりますが、 是非、時代の要求に即した試験制度にして戴きたいというのが私の切なる願いです。

会員名簿によりますと、AIBAが当試験を引継いだ後の合格者は、現時点で108名に昇ります。会員総数が329名ですので、名簿上は大凡3分の1を占めるまでになっています。実際には、新しく入会された会員の方が活発に活動されていますので、数字以上の存在感を私は感じています。

一方、今年度は昨年度に比べて、受験要項等への問合せやセミナー申込みが多いように感じています。この調子で行けば、昨年度を上回るかと思いますが、去りゆく者としては、会員各位の一層のご協力を望みたいと思います。

3. 私事ですが・・

これでやっと365日自由に使えるなという一種の解放 感、本部に行かないと皆さんに置いていかれるのでは ないかという一抹の不安感、更には、そろそろ老後に 備えねば・という焦燥感の絶妙なバランスの中に、ここ1-2ヵ月、身を置いております。こういう感覚を味わえるのも、これが最後かなという気がします。

同期(第1期)も段々と寂しくなってきましたが、私自身は皆様のお邪魔にならぬ範囲で、今後も会員として留まりたいと思っております。もし、勉強会の片隅で姿を見かけましたら、お声を掛けて戴ければ幸いです。

北海道の農水産物輸出

石浦 淳三 (北海道 #221)

『北海道ブランド』海外展開強化支援事業実行委員会という団体が官民挙げて結成され、北海道産の農水産物・食品を中心に、輸出有望商品に「北海道ブランド」の称号を与えて生産者の輸出マインドをかき立てています。また、台湾、香港、韓国など海外からの観光客が北海道各地を訪れるようになり、地元産の野菜や果物、畜産物、海産物を賞味して喜び、お土産として大量に持ち帰る様子を見て、「道産子」の「輸出マインド」がにわかに目覚めたのかもしれません。

丁度一年前の新聞記事のスクラップが手元にあります。「日本経済新聞社が全国の都道府県に農産物の輸出戦略についてアンケート調査したところ、11県が政府の掲げる輸出倍増の方針を実現可能と回答した。輸出拡大のため25県が数値目標を設定。環太平洋経済連携協定(TTP)への参加など貿易自由化をにらみ、輸出に活路を見いだす姿勢が鮮明だ」(2013年9月25日、日本経済新聞朝刊)

この記事から一年後の現在、「北海道の農水産物輸出」は確実に拡大に向かっていると言えましょう。「北海道の農産品を世界に売り込め」と、農業団体からも元気のよい掛け声が聞こえるようになりました。道東の根室港で水揚げされた秋刀魚(サンマ)がベトナム向けに輸出され、水産業界は着々と輸出実績を積み重ねています。

ジェトロ北海道はこの秋、海外バイヤーとの食品輸出商談会(農林水産省補助事業)を北海道の三都市(札幌、小樽、函館)で開催しますが、新しい取り組みとして、ジェトロ担当者が、参加企業のために時間をかけた周到なプログラムを組んでいることが注目されています。即ち、事前に「商談スキルセミナー」や、各国の規制情報の確認、商談準備(試食サンプル、価格表、物流・商流確認、カタログ、レシピなど)を行い、商談会後も契約締結までの商談継続をフォローするスケジュールになっているからです。成果が期待されます。

さて、現時点で「北海道からの食品・農水産物輸出」 に関する貿易相談を受けた場合に、貿易アドバイザー として何を情報源としているか、皆様のご参考までに 記しておきます。

- ·貿易実務全般: JETRO HP「貿易·投資相談Q&A」 (AIBA受託事業)
- ・海上輸送・航空輸送:船会社代理店、航空貨物代理 店に電話で相談
- ・輸出入通関:地元通関業者および札幌税関支署税関 相談官に電話で相談
- ・海外マーケット情報:JETRO「通商弘報」、「ジェトロセンサー」、日本経済新聞を購読
 - 「通商弘報」特集記事「欧州サービス産業における企業動向」(2014年9月)
- ・温度管理物流:JETRO調査レポートなど
 - 「2013年度主要国・地域におけるコールドチェーン調査」(2014年3月)

福岡レポート

岡田 伸子(福岡 #680)

「住みたい、行きたい、働きたい。アジアの交流拠点都市・福岡」 - 福岡市の掲げる基本構想の都市像です。理想ではなく、現実になりつつある発展性のあるここ福岡の魅力についてレポートしてみたいと思います。

福岡の現在の人口は152万人、この人口減の社会にあって毎年1万人以上もの人口が増え続け、後背都市圏を含めると247万人という人口を抱え成長し続けている都市です。博多の駅前開発も進み、コンパクトな街にお洒落なショッピングモール、安くて美味しい飲食店、屋台、緑豊かな公園となんでも揃い、休日にはマイカーで30分も走れば温泉、山、ビーチに辿り着き、退屈している暇はありません。

春には博多どんたく、夏には博多祇園山笠、秋には 博多秋博と盛り上がる催事も目白押し。

何よりも魅力的なのは交通アクセスの良さ。充実した交通網のお陰で、通勤は30分圏内というのがここではごくごく普通。この交通アクセスの良さと地理的優位性を生かし、福岡は物流・人流両面において、アジアの活力を取り込む玄関口として発展を続けています。

福岡の活力の源となっている博多港は釜山まで 210km、上海まで930km(東京とほぼ同距離)、中国沿 岸部の主要都市が半径1千km以内に位置する東アジア に最も近いという地理的優位性をもった港です。

この博多港から陸・海・空輸送モードの拠点(博多港、博多駅、福岡空港、高速道路ランプ)は半径5km圏内とコンパクトに集積しており、加えて博多港から3kmの距離には全国取扱量第3位のJR貨物の福岡貨物ターミナル駅も立地し、物流の効率的な接続を可能としています。国際海上コンテナ貨物取扱量は2013年速報値:867,806TEU(過去最高、対前年比2.2%増)で全国第6位、国際コンテナ定期航路は北米・アジアと直結しており38航路・月間206便(2014年7月現在)と充実し、日本の重要な港としての地位を確立しています。

博多港のコンテナターミナル運営も高度化しており、最新の物流ITシステム<HITS>による必要な情報をリアルタイムに把握できるサービスの提供で物流の効率化・迅速化を図り、耐震岸壁、免振ガントリークレーンの採用、停電時の電力供給体制の構築によって災害時等の事業維持計画(BCP=Business Continuity Plan)にも対応、近年では地震や津波等の自然災害が比較的少ないここ福岡にBCP対策として進出してくる企業も増えているようです。

また博多港を背後に近接して博多駅・福岡空港があるという非常に高い交通利便性により、広域から多くの人が集まりやすい立地条件が整っています。博多港国際ターミナルは国際乗降客数が約85万人(2012年)と20年連続日本一であるとともに、アジアクルーズ市場の急速な拡大に伴って外航クルーズ客船の寄港回数は91回(2012年)を数えこちらも日本一。博多港から2km圏内に商業・飲食施設が集積した都心の核、天神が位置しており、観光・ショッピングに最適な寄港地として人気を博し、海の観光ゲートウェイの役割も果たしています。

成長を続けるアジアに近い地理的優位性を生かし、 世界につながる九州・西日本の海の玄関口として今後 も発展をおおいに期待できる街、関東や関西圏に勝る とも劣らない可能性を秘めた街、福岡。ビジネスでも 遊びでも是非とも一度お越しください。きっとこの街 に魅了されてしまうことと思います。



博多港アイランドシティーコンテナターミナルのガントリークレーン (白クレーン)、 国際港としての景観を意識して、すっきりとした白で統一されている

苗木のミンスク市 (ベルラーシ共和国) への輸出 (寄贈)を実施して

畠山 茂雄 (宮城 #372)

今年の5月、宮城ベルラーシ協会(寄贈者)により仙台市と森と湖の美しいミンスク市(ベルラーシ共和国)との姉妹都市40周年記念事業として、エゾムラサキツツジの苗木40本を輸出する手伝いをしました。

仙台市は、ミンスク市と1973年に姉妹都市になって から相互訪問や市民レベルでも交流を深めております。 今回は2011年3月の東日本大震災で仙台市が甚大な被害を被ったときにミンスク市から様々な支援・励ましのメッセージをいただいたことに対するお礼も含めての寄贈でした。

2011年8月にはミンスク市の招待で宮城県仙台市の高校生25名が当市を訪問しております。若き彼らの心の中にミンスク市民の温かさ、優しい心のきれいな人たち、ユウモアのある同世代との交流やミンスク市の街の美しさ(ベラルーシ共和国は以前白ロシアと呼ばれていました。その由来はシラカバの木の白や白い建物・ビルの多さから感じます)に、また異文化の広がりに感動した高校生も多かったようです。

ミンスク市のラドウッカ市長より「ミンスク市も戦争によって多くの命が失われ辛い経験をしました。街への愛情あふれる市民がいる限り、仙台市はきっと立ち直ることができると信じています」という激励とお見舞いのメッセージには勇気づけられます。まさに郷土愛と人間愛、自らの誇りによる自立こそが復興の精神と思います。

ベラルーシ・ミンスク市も1986年のロシア、チェルノイブル原発事故の際、大きな被害を受け、仙台市民から医療支援などがなされております。

<苗木の輸出:日本からの輸出(代行) 時のワーク・留意点>

①輸出商品の決定:

既に現地の生育環境に適する苗木(エゾムラサキツツジ北海道産)40株、他にミヤギノハギ(宮城県の花)の出荷の話が浮上しましたが、約束以外の商品、サービス品等は輸出時には同梱しない。トラブルや納期遅れの原因にもなります。

②植物検疫:

日本からの植物の輸出は法令手続き・植物検疫 が輸出申告前にあります。植物の輸出時は根等に 土がついていないことが前提。ついていれば綺麗 に水洗いをします(盆栽: Bonsai も海外への輸出 人気がありますが、盆栽の土はすべて取り払って から出荷されます。根がダメージを受けないよう な工夫:ミズゴケ、ピートモス、培養液の使用等 が必要)。ベルラーシ共和国ではエゾムラサキツツ ジは規制対象外であるが、輸出国での試験機関に よる植物検疫証明書 (Phytosanitary Certificate) が 必要。これは仙台空港分室(横浜植物防疫所、塩 釜支所管轄)で前日、植物等輸出検査証明書を記 載提出して申請。翌日植物検疫が当事務所にて実 施。検査率は50%、1株ずつ検疫官により検査が実 施されています。植物検疫証明書は終了後すぐに 発行されています。

③成田空港指定倉庫への搬入、輸出用再梱包、輸出 通関、トルコ・イスタンブール経由ミンスクへの 航空輸送: 当初フランクフルト経由でのLH航空で輸送を予定にしていましたが、温度管理設備がないということでトルコ航空となりました。苗木は出荷時約6度で保管されていましたが成田到着時は一時常温となり、苗木から水分が解け若干水漏れが発生してしまい、再度輸出梱包をし直しました。温度管理の必要な商品は途切れることのない、シームレスな温度設定が必要です。航空輸送時の運賃に関しては、航空会社・代理店は実ウエートではなく、Chargeable weightで計算いたしますので留意が必要です。また適切な輸出用梱包も必要ですので、事前に通関業者等と打ち合わせが必要です。

今回の輸出では、上記2点ほどは反省材料ですが、十分な事前準備、関係先との連携・協力、十分な知識、フットワークの良さで、5月15日の仙台空港での植物検疫から始まり、ミンスク空港へは5月21日、輸入者(ミンスク市)指定の納入先には5月23日に納品されております。輸入時の植物検疫もスムーズに行なわれています。

来年の春には仙台市とミンスク市の姉妹友好都市のシンボルとして鮮やかな紫色のエゾムラサキツツジが満開になり、ミンスク市民に既に寄贈している桜とともに喜んでもらえることを期待しております。



輸出(寄贈)されたエゾムラサキツツジ

コーヒールンバは悲しい曲

熊木 信義 (埼玉 #553)

前回の「AIBAだより」で行方会員がトルココーヒーに関する興味深い記事を掲載されていましたので、小生もコーヒーに関する思い出とラテンの名曲「コーヒールンバ」について書いてみました。

コーヒーは緑茶とともにがんの予防に有効だそうですが、コーヒーは私にとっては鎮痛剤でもあります。 もちろん嗜好品でもありますが、ちょっとした頭痛の ときに先ず熱いインスタントコーヒーを飲み、それで も回復しない時に薬を飲むのが長年の習慣となっています。

それは、1980年代にメキシコにいたとき、中西部の ミチョアカン州を旅行中、州都モレリアのバスターミ ナルで飲んだ一杯のコーヒーがきっかけだと記憶して います。

メキシコの気候は地域にもよりますが、年中温暖で 四季がない代わり、一日のうちに四季があるといわれ るほど日較差が大きい。やたら寒かったり暑かったり で、半袖で歩いている人がいるかと思えば、日中から コートを着ている人を見ることも珍しくなく、ある意 味体調の管理が大変。

その日もホテルから一歩外に出ると、まだ午前中だというのに眩しい日差しが照りつけるのに、冷房による風邪の初期症状のせいか気分がすぐれない状態。そこで一休みしようとバスターミナルに入って、そこの売店でコーヒーを注文。

当時、場所によってはコーヒーを注文すると、インスタントコーヒーの粉が入った大きな瓶と、お湯がテーブルに運ばれ、自分の好みでコーヒーを作ることが一般的でした。

現代の洗練されたイメージのターミナルのカフェテリアではなく、素朴で小奇麗なところで、「カフェ・デ・オジャ」といい、土製の深鍋で煮出しされた砂糖とシナモン入りのコーヒー。この素朴な優しい味のコーヒーで体が温まり元気を取り戻しました。コーヒー通の方には「なんだ、このコーヒーは」と言われそうですが・・・・。

さて、話しは変わりますが、「コーヒールンバ」の原曲はラテンの曲で、「MOLIENDO CAFE」(コーヒーを挽きながら)というのが原題です。それが、原曲とは何の関係もなく、日本語の歌詞ではアラブのお坊さんが登場しています。このめちゃくちゃな強烈な歌詞がぴったり来て、我が国では大ヒットに繋がりました。

原曲はコーヒー農場の黒人奴隷、過酷な労働、愛の 苦悩を、挽き臼を通して表現しているベネズエラのホ セ・マンソの作といわれています。1980年代に入り、 フリオ・イグレシアスが淡々と哀愁のある歌声を聴か せてくれています。カラオケにもありますので、ぜひ 機会があったら聴き比べてください。

> ♪ (邦訳) ♪ 気だるい黄昏時 影がよみがえると 静寂の中にコーヒー園がふたたび感じられる 古ぼけた挽き臼の愛の歌は 悲しみに張り裂けるように歌っている 夜の眠りの中で なにかを言っているようだ 恋の苦しみを、悲しみを サンボのマヌエルは 彼の苦痛の中にそれらを持っている

だが、疲れを知らないように コーヒーを挽きながら 夜は過ぎていく



モレリア市 (Morelia) の世界遺産地区 にあるカテドラル (Cathedral)

読書の秋来たる!

片本 善清 (奈良 #422)

大げさなタイトルになり恐縮ですが、最近読み始めた書物を紹介します。タイトルは「INTERVIEWS」編集者はクリストファー・シルヴェスターで、原書はペンギン・ブックス。和訳は文春学級ライブラリー「インタヴューズ」 IーIII 巻で新庄哲夫ほか訳です。

最初は和訳書を読むつもりでしたが、アマゾンで第三巻目だけ見つかったので読み始めました。最初はJohn F. Kennedy から読み始めました。一方、わが大学の先輩で英語の大家に相談結果、彼が原書を所有しているので「これを読め!」と薦められました。したがって結果として、日本語の本を読むより3倍から4倍の時間が掛るが、翻訳にないものからでも、原文を読もうと決心して、わが興味の乗るままに、Alfred J. Hitchcock から読み出しました。

というのも、わが青春の始まるころ? TVが出始めたころに、白黒ながら「ヒッチコック」特集を良く見たことを懐かしく、思い出しました。ヒッチコックの話として、生まれは1899年 East Londonで、映画技術者からスタート脚本家、監督へと進んだ。最後は81歳まで生存した。しかしながら、小生に一寸意外なのは、アメリカハリウッドに移ったのは、50歳になってからでハリウッドでは、かの有名な『裏窓』(Rear Window)ほか数本しか映画は撮ってないそうです。

ついで和訳書で、わが好みのマリリン・モンローに 入りました。彼女は非常に純粋で、映画スターらしく なく、自分の好きな人・もの・方向へ進んだそうです。 そしてメジャーリーガーのジョー・ディマジオと結婚 して、来日までしました。彼女は純粋さのあまりに、 精神的な弱さもあり、悲しい最後となりました。

後は余禄のわが人生で、出来るだけ一人でも多くの19世紀後半から二十世紀に生きた世界の偉人・異人たちの(本書には約200名の人物)インタヴューを楽しみたいと思っています。なお、この書物の特長は、インタヴューを行う人はすべてその業界で有名な人らしいことです。

ソーセージの焼き加減は?

芳賀 淳 (兵庫 #562)

ここは米国東海岸。展示会初日の昼となりました。 展示会場のホテルでの昼飯は高いので、外で食べることにします。一緒に外に出かけたのはA社のB氏。

「ホテルの近くに朝から停車していたホットドッグ屋 台くらいしかないですね」「そうですね。そこしかない ですね」ホットドッグ屋台はワンボックスカーを改造 して店舗部分を横開きにした移動式店舗。日本でも週 末の公園などで見かけることがあるタイプです。

「Hi, how are you doing? (やあ、元気かい?)」中東風の店主が、客の我々に語りかけてきます。「Yeah, too good! (おお、えれえ元気だぜ!)」熱い言葉が交わされました。

「何にしますかね? どうでもいいけど安いですね。ホットドッグが150円ですよ。猫の肉でしょうか?」「まあ、メニューの上にオールビーフ (All Beef) って書いてあるから牛なんじゃないですか? ここはアメリカだし、牛の方が猫より多いでしょう」熱い言葉が不安げな言葉に変わります。

「What? (何にします?)」ムスタファ(店主)が客の我々2人に聞きます (勝手にムスタファと名付けました)。「よし、ソーセージにします」B氏が先に決めました。メニューにはホットドッグ、ソーセージ、チーズステーキなどがあるのですが、チーズステーキは前日昼間に別の店で食べて今一つだったので避け、ホットドッグは日本でも食べられるのでパス、わざわざメニューにソーセージと書いてある、そのソーセージを選びました。

「One sausage! (ソーセージ、1つ!)」至近距離ですが怒鳴って注文するB氏。屋外の屋台で注文するとついつい怒鳴りたくなるようです。

「What do you like your sausage? (焼き加減は?)」は?ソーセージの焼き加減んん???不安げな顔をして私の方を振り返るB氏。ソーセージに焼き方などあるのでしょうか?「ほら、ステーキによくあるじゃないですか。焼き加減はいかがしましょうか、って店。ここは屋台だけど、一応客の好みにソーセージを焼く

店ってことじゃないですか?」よく分からないままいい加減なアドバイスをする私。「なるほど、そういうことでしたか」妙に納得するB氏。物分かりがよろしい。

「ウェルダン(Well done)=よく焼いて!」焼き加減の好みを伝えるB氏。ソーセージだからよく火を通さないと、という衛生観念からの注文なのか、はたまたいつもステーキはウェルダンなのかは分かりませんが、好みの焼き方をムスタファに伝えたB氏です。すると、ムスタファは口角の片側を上げながら調味料を取り上げました。

トマトケチャップ、マスタード、マヨネーズ、チリ (辛味調味料)、ムスタファが我々に聞いたのは、ソー セージにかける調味料は何にするか、ということでし た。ソーセージの焼き加減などではなかったのです。

「ケチャップ、マスタード、そして刻んだ玉ねぎ」B 氏は好みの調味料をムスタファ伝えました。ムスタファ は頷きながらソーセージを焼く鉄板に向かいました。

「ぐうわっはっはっはっはっはっはっ!!!」ソーセージを焼きながらムスタファがいきなり吹き出しました。堪えていた笑いが爆発したのです。「ソーセージには何をかけます?旦那?」「よく焼いて(ウェルダンで)ください」どこにソーセージの焼き加減を尋ねる店がありましょう。

ムスタファは大きな背中をひくひくさせながらソーセージを焼き、それをコッペパンに挟みました。たっぷりとケチャップ、マスタード、刻み玉ねぎの乗ったホットドッグがB氏に手渡されました(結局ホットドッグだったのか???)

後でB氏に聞いたところ、ソーセージは丁度良い火加減だったそうです。すなわちウェルダンでした。背中をひくひくさせながらもムスタファはしっかり客の要望に答えていたのです。やるな、ムスタファ。明日も昼飯はお前のとこだ。

(ホットドッグとソーセージの違いは何だ? ウェルダンと言わずレアと言ったら、どんな焼き加減で出てきたのだ?)



ソーセージ屋台の風景

ドイツ製グライダーの レストアリング(修復)ワーク(中編)

清水 正明(埼玉 #047)

前編では、ドイツ製グライダー ASK13型の概要とレストアリング・ワークが誕生した経緯を記しましたが、NPO「滑空場」は、このワークへの参加希望者を2012年8月に募集し、応募した6名のグライダー・パイロットにより、「チーム2399」というワーキンググループを組織しました。

チーム・キャンプテンのSさんは、戦後に日本で航空事業が再開された時からのグライダー乗りであり、機体製作や修理に卓越した技能と経験を持つベテラン航空技師、Aさんは木工技術者、Kさんはオートバイの現役エンジン設計者、Mさんは無線技術者、何でも屋のEさんと清水の計6名が、各々の得意分野で力を発揮し、共同ワークに当たることになりました。

6名は皆、「手弁当」のボランティアであり、世界的に愛好されているグライダーの生命を蘇生させ、再び大空へ羽ばたかせようとの「グライダー好きおじさん」のグループです。

最初に取り掛かったワークは、「胴体、主翼、水平・垂直尾翼をきれいに被覆はしてはいるが、経年変化により弾力性も失い脆弱化している塗装済み羽布を剥ぎ取り、機体全体を製作当初の鋼管・木製骨格に戻すこと」です。もしも現用のグライダーの被覆を「バリバリ」と無造作に破り取ったならば、これは器物損傷の罪ですが、この時ばかりは、「幼い日の障子破り」を思い出させる遠慮無用の愉快な作業でした。しかし、強力な有機性接着剤でしっかり付着している全部で約50㎡の羽布を機体からきれいに剥ぎ取る作業は、予想以上に疲れる手作業です。

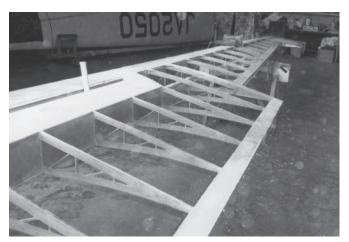
羽布とは、グライダーや軽飛行機の翼や胴体に張る 亜麻や苧麻(ちょま)、又は木綿のせんいで織った軽く て丈夫な布をいいます。初めてライト兄弟が飛ばした 動力付き飛行機、「フライヤー号」の全ての翼にも羽布 が張られていました。有名な「ゼロ戦」も、羽布張り の動翼を装着していました。

次いで航空ベニヤ板で成形されている主翼前縁部や、主翼の木製の主桁(スパー)や小骨(リブ)に剥ぎ取り切れずに残っている羽布を、電動サンダー(研磨機)や「のみ」で慎重に取り除く作業に取り掛かりました。この作業に不手際があると骨格を弱め、修復仕上がりに不具合や機体重量の変化などが生じますから、汗と埃にまみれて慎重に作業を進めました。8月の猛暑の最中、この作業は延々と胴体や水平・垂直尾翼の全ての骨格に施されました。

この作業中、木製グライダーの構造特有の工作物 が数多く見付けました。その1つに、飛行中のグライ ダーの主翼に懸る荷重を支えるために、主翼の主桁 (スパー) に主翼断面の形をした10数枚の小骨を直角に取り付けますが、この小骨の最も荷重の架かる部分に3枚張り・厚さ1ミリ弱の航空ベニヤを縦に使った構造を使っています。あたかも、高級障子戸の巧緻な格子細工を類推させる木工品といえます。主翼を構成する10数枚の小骨に張られた羽布の上を流れる空気が、グライダーの浮力を生み出すのです。

やがて溶接鋼管で成形された胴体と木製骨組みの骨格だけとなったグライダーは、清掃や細部にわたる部分的補正、そして入念なひび割れチェックの後、今回のレストアリング・ワークの中で一番の見せ場といえる「主翼の羽布」が始まりました。台状に固定された底辺の長さが約1.8米、頂点の幅が0.5米、長さ7米の細長い蹄形の主翼に、切れ目のない1枚の羽布を広げます。

そして、羽布が木製骨組みに触れる全ての箇所への み透明なドープセメントという接着剤を塗り、羽布を 骨組へ固着させます。ドープセメントとは、熱可塑性 プラスチックを石油系有機溶剤で溶かした「溶着型」 の接着剤です。身近にある化学品としては、女性が美 容のために爪に塗るマニキュア用エナメルがあります。 そして大きな1枚の羽布で主翼の木製骨格を一挙に覆 い、僅かな「しわ」や「弛み」もなく航空流体力学で 設計・成形された微妙な曲面を生み出します。恰もこ れは、微妙な体型を持つ女性が、殆どが平面で作られ ている和服を身に纏い、見事な美的曲面生み出すのと 共通しています。



主翼の木製小骨 (リブ)

支部活動

首都圏地区

7月19日 (土)

7月度首都圏勉強会

講師:富田慶久会員(#690)

テーマ: 「日本の中小企業のための海外向けインター

ネットビジネス(BtoC)への取り組み方|

概 要:インターネットビジネスの重要性が益々高まる中で、中小企業にとってどのように活用すべきか、次のポイントについて解説して頂いた。(a) グローバル電子商取引の動向(b) 越境ネット販売のマーケティング(c) 海外向けホームページの作成ポイント(d) ECモールを

利用した海外向け販売

場 所:中央区豊海区民館

参加者:42名

9月27日(土)

9月度首都圏勉強会

講 師:塩倉昭彦 会員 (#688) テーマ: 「航空貨物について|

概 略:益々スピード化・多様化の求められる国際物 流ニーズに応える航空貨物の現状について次 のポイントを中心に解説して頂いた。(a) 航空 貨物の流れ(b) 貨物の特徴(c) 航空貨物のよく

ある問題点とその対策

場 所:中央区豊海区民館

参加者:48名

東海支部

6月21日 (土)

6月例会

講 演:「仲介貿易の注意事項 |

講師: AIBA関西前支部長 芳賀淳会員(#562)

会員講義:「台湾事情今昔」

講師:佐伯次郎 会員(#686)

場 所:愛知産業労働センター会議室

参 加 者:16名

8月30日 (土)

8月例会

講 演:「中国から朴葉輸入~あるなら買ってやると

言われ~(奮)起業|

講師:有限会社マグリーフ代表取締役 増永朗氏

会員講義:「原産地表示について」 講師:常川八司雄会員(#249) 場所:名古屋国際センター研修室

参 加 者:15名

関西支部

7月19日(土)

7月度定例会

場 所:大阪市内ドーンセンター

参加者:定例会37名(勉強会一般参加4名、東京から

の会員講師1名含む)

内 容:

- ·司会(古城副支部長)
 - ・連絡事項(太田支部長)
 - ·挨拶(細井副支部長)
 - ·11月名古屋港特別見学会参加予備調査結果報告(益 倉書記)
 - ・関西支部 事業推進アイデア提案
 - · 外為講座 (神屋会員 #346)
- ・講習会「安全保障貿易管理」(永野会員 #068) 終了後、有志による懇親会を開催(参加者20名)

9月20日(土)

9月度定例会

場 所:近畿大学経営学部内(東大阪キャンパス内)参加者:46名(会員26名、外部講師・近大教員、

学生等関係者20名)

内 容:

- ·司会(古城副支部長)
- ・連絡事項(太田支部長):AIBA試験、セミナー関連、 AIBA代表メールアドレス運用規定の順守、等
- ·11月研修会 名古屋港特別見学会募集要領 (益倉書記)
- · 挨拶(東海支部長)
- ·名古屋港関連(常川東海支部長)
- · 外為講座 (神屋会員 #346)

講習会:

講 演 者:石田奈奈 氏、大手繊維会社若手海外営

業ウーマン

タイトル:素材メーカーの海外営業を通して見えて

きたもの

質疑応答:会員から多数のコメント、質問あり 終了後、有志による懇親会を開催(参加者40名)

AIBA-NET 論壇

2014年7月から9月の期間にAIBA-NETで交わされた 貿易実務に関する情報、質疑などの主なテーマを抽出 しました。詳細については、AIBA-NETでのやりとり を参照ください。

7月

中国向けの生産技術供与契約

売り手買い手の二者(日本国内居住)間での信用状取引

8月

カナダでDDP輸入する場合の税関事務管理人制度は? B/L紛失後の手続き

海外から機械をリースにて輸入

9月

L/C決済金額について L/C決済の利用現状

AIBA-NET Q&A

ここではAIBA-NET上で交わされた貿易実務に関する テーマと回答者を選んで、その回答者に内容をまとめ ていただいております。

相談

国内商取引での信用状利用は可能か? 回答者:川角 カ(千葉 #632)

- 1. 貿易を伴わない国内商取引で、信用状取引はできるのでしょうか。もしできるとしたら船荷証券など にかわる書類はどういうものを要求するのでしょうか?
- 2. もし国内商取引での信用状利用が可能な場合、信用状発行銀行と通知銀行が同一銀行の同一支店というケースも起こり得るでしょうか。あるいは海外との貿易取引においても、発行銀行と通知銀行が同一銀行の同一支店というケースが起こりえますでしょうか。(極端な話、輸入者、輸出者、発行銀行、通知銀行すべて別々の国にあっても良いものか)
 - 1. 貿易を伴わない国内信用状取引は実務上困難です。いわゆるドメスティック信用状(発行銀行、通知銀行とも日本国内)は時折見かけますが、この場合売り手・買い手とも日本国内ですが、モノは海外から輸出入する取引形態でした(商社が海外から輸入したモノを国内で別の商社へ転売するケースや、外資系法人との売買取引だがモノは海外の本社へ輸送するケース、または国内売買取引だがモノは中国→韓国で動くケースなど)。そのため、それぞれの信用状で船荷証券を要求していました。

国内商取引の場合、船荷証券に代わるものがなく、仮に運送書類(クーリエレシートなど)を要求するとしても、①銀行として担保荷物異例扱い(*)となること、②そもそも貿易決済手段としての信用状の、国内商取引への転用を想定していないことなどにより、貿易を伴わない国内商取引での信用状取引は実務上困難です。これは信用状発行に伴う個社ごとの与信面でのハードルとは別の問題です。国内商取引に銀行保証を使うのであれば、信用状ではなく、売買契約をベースに保証限度額・期間を定めて行う国内銀行保証(支払承諾)になるのではないでしょうか。

- (*)銀行取引上、信用状取引における取扱荷物を銀行へ担保差し入れする約定となっているが、担保として保全面で問題が生じる可能性があること。
- 2. 売り手と買い手が同一銀行同一支店と取引している場合、信用状発行銀行と通知銀行が同一になるケースは理論上あり得ます。但し、実際に見たことはありません。

輸出者と通知銀行が別の国というケースは実際にあります。例えば輸出者はマレーシア(米国企業の関連会社)ですが、通知銀行は米国の場合です。この場合国を跨いだ信用状通知となり、スムーズに行われるか懸念されたため輸入者に事情を尋ねましたが、「輸出者側からの指示なのでよくわからない」とのことでした(結果として問題なく通知され、信用状による輸入決済も完了しました)。

また、輸入者と発行銀行が別の国ということもあり得るでしょう。但し、その場合は国を跨いだ与信取引となる点がネックとなります。あくまで理論上ですが、輸入者、輸出者、発行銀行、通知銀行すべて別々の国ということも可能です。

アドバイザーの活動

2014年7月から9月の当協会会員による貿易アドバイザー活動についての報告をまとめたリストです。公表を避けて未報告の活動案件も多数あると推定されますので、本リストでは活動全般を網羅していないことをあらかじめお断りします。

講演・講師

永野 靖夫 (東京 #068)7/19AIBA 関西支部主催

「平成25年年度安全保障政省令改正とその基礎」 場所:ドーンセンター (大阪)

佐藤 利光 (千葉 #144)

8/8

大阪商工会議所主催

2014年度貿易実務セミナー「貿易とマネー」

概略:代金決済、外国為替、輸出入金融について

場所:大阪商工会議所

伊東 仁一 (東京 #223)

7/7

国際フレイトフォワーダーズ協会主催 国際複合輸送業務集中講座 概要:元地回収B/Lの問題点とWAYBILLの活用

場所:博多ホテル(福岡)

9/18

国際フレイトフォワーダーズ協会主催

運送書類研修会

概要:元地回収B/Lの問題点とWAYBILLの活用

場所:大阪市AP

木村 徹 (東京 #347)

7/16

日本経営協会主催

いますぐ現場で役立つ!物流コスト削減

概略:物流ネットワーク、物流センター、物流料金

体系、物流品質、他 場所:日本経営協会(東京)

弓場 俊也(大阪 #415)

7/2~8/6 (10回)

神戸貿易協会主催

「実践ビジネス英語講座 |

場所:神戸商工貿易センタービル

7/3,4

クボタ教育センター主催

社内研修「英文契約書作成の実務|

場所:尼崎クボタ研修ビル

7/17~30 (5回)

追手門学院大学主催

特別講座「貿易実務」

場所:追手門学院大学

8/27

グローバル人材育成センター主催

講師育成研究会「講師になったる!セミナー

場所:大阪駅前第3ビル Harvest 会議室

9/5

神戸市アジア進出支援センター主催

国際フロンティア産業メッセ2014

海外進出リスク軽減セミナー

「国際マーケティングと異文化理解」

場所:神戸国際展示場1号館

9/16

高岡市・ジェトロ富山主催

「海外輸出商談成功に向けての準備と心得」

場所:ウィングウィング高岡研修室

9/19~11/27 (10回)

大阪国際経済振興センター主催

「輸出入通関実務セミナー」

場所:大阪産業創造館

高橋 伸二 (兵庫 #420)

9/3

IFSAM (International Federation of Scholarly

Associations of Management) 主催

[Japanese ownership]

in international joint ventures in Thailand J

場所:明治大学

芳賀 淳 (兵庫 #562)

7/2

中小企業大学校関西校主催

中小企業支援担当者等研修「中小企業のグローバル化」

場所:中小企業大学校関西校

9/4

JICA関西主催

貿易・投資促進のためのキャパシティ・ディベロッ

プメント研修 (A) [Information to attract FDI]

場所:JICA関西

相談・アドバイス

弓場 俊也 (大阪 #415)

7/17

高岡市・ジェトロ富山主催

貿易相談会「欧州向け食器輸出|

場所:高岡市役所

7/24

ジェトロ神戸主催

貿易相談会「米国向けジュエリー輸出」

場所:ジェトロ神戸貿易情報センター

8/7

ジェトロ神戸主催

貿易相談会

「ランプシェードをミラノサローネ見本市へ出展|

場所:ジェトロ神戸貿易情報センター

9/1

ジェトロ神戸主催

貿易相談会

「女性下着をイタリア・MIPAP見本市へ出展」

場所:ジェトロ神戸貿易情報センター

9/16

高岡市・ジェトロ富山主催

貿易相談会「家具・インテリア製品を欧州向け輸出」

場所:ウィングウィング高岡研修室

9/19

ジェトロ神戸主催

貿易相談会「女性帽子を英国HARRODSへ販売」

場所:ジェトロ神戸貿易情報センター

芳賀 淳 (兵庫 #562)

9/2

大阪市・海外展開支援プロジェクト (OBDI) 主催

「インドネシア展示会参加に当たって」

場所:大阪市役所

山下 修 (静岡 #645)

7/16

ジェトロ静岡主催

貿易相談会「日本茶輸出手続き|

場所:静岡ペガサート静岡市産学交流センター

8/13、27

ジェトロ浜松主催

貿易相談会「日本茶輸出手続き」、「雑貨輸入手続き」、

「化粧品輸出手続き」、「EPA特恵関税手続き」

場所:浜松商工会議所

執筆・連載

木村 徹 (東京 #347)

7月

日本関税協会発行

貿易と関税2014年7月号

ロジスティクス講座

概略:①「物流システム-4 (バーコードとRFID)」、

②NTEレポート2014-1回目

ロジスティクス・トレンド発行

ロジスティクス・トレンド2014年7月号

TPPを斬る「TPPを巡る最近の国際情勢」

8月

日本関税協会発行

貿易と関税2014年8月号

ロジスティクス講座

概略:①「棚卸」、

② NTE レポート2014-2回目

ロジスティクス・トレンド発行

ロジスティクス・トレンド2014年8月号

TPPを斬る「TPPとセーフガード」

9月

日本関税協会発行

貿易と関税2014年9月号

ロジスティクス講座

概略:①「棚卸実務」、

②日通総合研究所による「2014年度の経済と 貨物輸送の見通し」

ロジスティクス・トレンド発行

ロジスティクス・トレンド2014年9月号

TPPを斬る「日本が他国に支払っている輸入関税 |

['] 理事会議事録(抄録)

第121回AIBA臨時理事会

日 時:平成26年7月5日(土)午後2時開会

場 所:AIBA本部事務所

出席理事:渡辺肇幸、大河内竹雄、井上隆彦、富田慶久、

菊池祐二、熊木信義、池田一広、熊本一夫、 芝田政之、服部浩一、清水晃(11名出席)

欠席理事:高梨義紀、岩田静生、山本千誉

(委任状2名提出にて定足数を充足)

出席監事:鈴木忠幸、欠席:伊東仁一

議 事:渡辺理事長の司会により下記の議事を行った。

(1) 重要案件取組方針

- ・ジェトロ中堅・中小・小規模事業者新興国進出支援専門家派遣事業(調達・流通)の専門家として新たにAIBAより5名が採択された。
- ・数か国の在外公館経由の市場調査、外国中小企業 の対日輸出支援など受注が具体化、詳細が報告さ れた
- ·2014年度AIBA認定試験運営委員会の理事運営委員、事務局長、会員運営委員、作問委員(一部)など決定。
- ・鳥取県東南アジアビューロー設置運営業務関係、 企業進出はタイ政治情勢が不安定ゆえ止まってい る。一方タイよりの観光客を県に誘致が活発化、 スマイルサポーター事業など動きが見られた。
- ・AIBA会員Profile登録は、事業案内をタイムリーに 行うため、多くの会員が登録されるように発言が あった。
- ・AIBA事務所移転について、理事会の下部機関として委員会を設置し詳細を決めてゆく。現在の事務所よりあまり離れない千代田区内で考えて行きたいとの意見があった。
- ・次回理事会は、2014年9月20日(土) 開催が決定。 以上により本日の議事を終わり、理事長は閉会を 宣した。 議事録署名人:理事 富田慶久

第122回 AIBA 臨時理事会

日 時:平成26年9月20日(土)午後2時開会

場 所:AIBA本部事務所

出席理事:渡辺肇幸、大河内竹雄、井上隆彦、富田慶久、 菊池祐二、岩田静生、熊木信義、池田一広、 熊本一夫、芝田政之、服部浩一、清水晃 (12年出度)

(12名出席)

欠席理事:高梨義紀、山本千營

(委任状2名提出にて定足数を充足)

出席監事:鈴木忠幸、伊東仁一

議 事:渡辺理事長の司会により下記の議事を行った。

(1) 今期重要案件取組方針

現在進行中の新規調査受託案件、継続中の外国 公館経由の国内市場調査、技術指導支援事業な どの進捗状況について報告された。

AIBA認定貿易アドバイザー試験事業は、9月23 日実力養成セミナーが始まる予定。本日現在で セミナー申込み人数は145人、試験申込みは15人。

- (2) 来期AIBA運営構想について 2015年4月には来期の理事候補をきめる予定。出 席者より留任希望、退任希望など各意見が出さ れた。
- (3) その他

AIBA事務所移転の件は、現在の事務所の貸主、東京都交友会よりAIBAに対しての退去通知を受け取った後、理事会の下に小委員会を設け、転居先候補探し、予算案、スケジュール、引っ越し手配など検討して行くこととなった。退去は2015年8月頃までとなる見込み。

以上により本日の議事を終わり、理事長は閉会を 宣した。 議事録署名人:理事 富田慶久

〈編集後記〉

- ★円相場が一時1ドル110円台となり、1ヶ月強で約8円も円安が進んでいます。輸出企業にとって円安はプラスの側面がある反面、地方経済や中小企業にとって輸入物価の上昇を通してマイナスの側面があることも否めません。地方創生を重要課題に据えている政府にとって、円安は両刃の剣でもあります。
- ★今号には北海道、東北、九州からの活力のある ビジネスレポートが掲載されています。政府が 地方創生を声高に唱える前から、既に地方経済 の活性化は始まっているようです。
- ★貿易アドバイザー試験の実力養成セミナーが東京・大阪をはじめ、その他の都市でも開催されています。今年のセミナー受講生の数は昨年と 比べて漸増傾向にあるようです。
- ★AIBA事業の内容の変化が具体例をもって紹介されています。時代の要請でしょうか、AIBA本部の事務所移転と併せて、AIBA自身が大きく変わるうとしているようです。 (TY)

AIBA認定

易アドバイザー試験2014

主催:一般社団法人貿易アドバイザー協会(AIBA)

後援:日本貿易振興機構(ジェトロ)、一般社団法人 日本貿易会、日本商工会議所、

一般社団法人 日本商事仲裁協会、一般財団法人 対日貿易投資交流促進協会(ミプロ)

協賛:一般財団法人 貿易·産業協力振興財団 (ITIC)

■試 験 日

1次 2014年11月22日(土) 2次 2015年1月下旬予定

■試験会場

1次 東京・大阪・名古屋・広島・福岡・仙台・札幌 2次 東京・大阪

■試験科目

1次 貿易英語、貿易実務、国際マーケティング

2次 小論文 (事前提出) 審査と面接

■受験資格

原則3年以上の貿易実務経験を有する方

貿易アドバイザー協会は、会員に対する情報提供等により会員共通の利益を図るとともに、 当法人と会員の活動を通じてわが国の貿易の発展と国際協力の促進に貢献することを目的とし、 その目的に資するための事業を行っています。

> 詳しくは、貿易アドバイザー協会 http://www.trade-advisers.com/ をご覧下さい

お問い合せ: 一般社団法人 貿易アドバイザー協会 (AIBA) 試験事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-1-5 昌平橋ビル2F TEL: 03-3255-2477 FAX: 03-3255-2478 E-mail: aiba-nintei@trade-advisers.com



海外に子会社をお持ちの法人の皆さま 「移転価格税制の文書化」の重要性 ご存知ですか?

ものづくり日本の 次毎外単大単各 関税は移転価値の吸点よれ 中小企業形とかる認い機が、進出か 全発表には変形とかる認い機が、進出か

好評発売中

移転価格税制が理解できる一冊!

(目次より)

第2章:日本の移転価格税制とその運用

第3章:各国の移転価格税制とその運用

第4章: 戦略的移転価格対策 第5章: 移転価格税務訴訟

等、多くの事例を挙げて

分かりやすく説明しています。

おまかせ下さいいの出事を届けます

TradeTaxの 柴田•千田国際税務•会計事務所

におまかせ下さい!



●東京事務所● 所長:柴田 篤

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-5 紀尾井観光ビル 3F お問い合わせ TEL: 03-3264-5271 / E- MAIL: info@japan-jil.com

●大阪事務所● 所長:千田 昌明

〒532-0003 大阪市淀川区宮原5-1-18 新大阪サンアールセンタービル11F お問い合わせ TEL: 06-6350-7100 / E-MAIL: info@cita110.com



2015年より 相続税が厳しくなります!

我が家も相続税の対象に入るのかしら? 、どういった対策をすればいいの? ・ 誰に相談すればいいの?



事前準備が重要です! 相続税のプロが、 親切・丁寧・いい仕事を お届けします。

柴田(#508)

柴田・千田国際税務・会計事務所

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-5 紀尾井観光ビル3F Tel: 03-3264-5271 / E-mail: info@iapan-iil.com

「読む字引・・

安全保障とその周辺」

(A4で約77頁、大凡11万字) 現在講演のDVDとセットで好評販売中! 詳しくは、協会ホームページにアクセス!! 安全保障に取り組むには最適です!!

「輸出のすすめ方」

平成23年6月第2版出版総代理店契約にも言及!

「輸入のすすめ方」

平成21年4月第5版出版

上記2冊は、ジェトロより出版

著者: 永野靖夫 (#068) AIBA 認定貿易アドバイザー 柴田・千田国際税務・会計事務所顧問 http://www.bouekitenbou.com

